

**総合計画×SDGs シンポジウム**  
**～笑って学んで考えるこれからのさがみはら～**  
**結果報告書**

**令和元年 9 月**

**相模原市**



## 目次

<b>実施概要</b> .....	<b>1</b>
1 目的.....	1
2 実施日時 .....	2
3 実施スケジュール.....	2
<b>シンポジウム参加者</b> .....	<b>3</b>
1 全体参加者数 .....	3
2 年代別 .....	3
3 参加者の傾向 .....	4
<b>実施結果 「パネルディスカッション」</b> .....	<b>5</b>
1 実施概要 .....	5
2 実施方法 .....	5
3 実施結果 .....	8
<b>実施結果 「特別授業」</b> .....	<b>24</b>
1 実施概要 .....	24
2 実施方法 .....	24
3 実施結果 .....	25
<b>アンケート結果</b> .....	<b>34</b>
<b>資料編</b> .....	<b>50</b>



# 実施概要

## 1 目的

次期総合計画策定に当たり、総合計画基本構想とSDGsに関することについて、幅広い世代の市民に周知し、市政への意識の高揚を図ること、また、シンポジウムを通じて市民が感じた将来のまちづくりに対する思いや感想をアンケートにより聴取し、その声を次期総合計画へ反映させることを目的とした。

シンポジウムは、来場者参加型で実施することや、お笑い芸人をゲストに呼んで実施することにより、普段市政に参加する機会が少なかった市民の方々も含め、様々な世代や職業の方から意見をもらえるよう実施した。

### シンポジウムポスター

**主催** 相模原市 **総合計画 × SDGs シンポジウム**

# 笑って学んで考える これからのさがみはら

「相模原市の未来の設計図」である総合計画と、「国連が定めた世界共通の目標」SDGsについて、笑いながら学び、これからのさがみはらを一緒に考えましょう！

**日時** 令和元年 8月9日 金  
[午後6時30分～8時45分 (午後6時開場)]

**会場** 社のホールはしもと [ホール]  
(相模原市緑区橋本 3-28-1 ミウイ橋本7F)  
(JR 横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口を出てすぐ)

**入場 無料**  
500名 [先着順]

**特別授業** エヌディー・エズ  
『笑って学ぶSDGs』  
笑いながら学べる内容をお届け！観客参加型の「SDGsパズルゲーム」も開催！

**ゲスト**  
ハマカーン (お笑いコンビ) THE MANZAI 2012チャンピオン

**たかまつななさん** (お笑いジャーナリスト)

**パネルディスカッション**  
『みんなで考えるこれからのさがみはら』  
様々な分野からゲストをお呼びし討論会を開催！  
来場者全員に意思表示できるコントローラーを渡し、質問を投げかけながら進行する、新しいタイプの参加型討論会！

**金森 剛さん** (相模女子大学副学長・社会マネジメント学科教授)  
**中澤 吉裕さん** (日本職いすゞ協会ソーシャルチーム監督)  
**遠田 文江さん** (有限会社たけみや「女性活躍推進企業」代表取締役)  
**榎野 和子さん** (相模原市子ども子育て会議委員)  
**本村 賢太郎** (相模原市長)

●一時保育あり  
●第一着席前のお子様10名まで、8月2日までに事前にお申し込みください  
●車イスで会場の方は申込時にお伝えください  
●手話通訳、要約筆記あり

**申込方法**

- ① 相模原市コールセンター TEL.042-770-7777
- ② 企業政経メールアドレス kikaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

【申込QRコード】

1分で申込完了 とっても簡単！

## 2 実施日時

日程	令和元年8月9日(金) 18時30分～20時45分
場所	杜のホールはしもと ホール

## 3 実施スケジュール

概要	時間
開会あいさつ(相模原市長)	18:30
パネルディスカッション タイトル : 「みんなで考えるこれからのさがみはら」 パネリスト : 金森 剛氏(相模女子大学 副学長) 中澤 吉裕氏(日本車いすテニス協会ナショナルチーム監督) 遠田 文江氏(有限会社たけみや代表取締役) 笹野 和子氏(相模原市子ども・子育て会議委員) 本村 賢太郎(相模原市長)	18:35 ~ 19:35
休憩	19:35
特別授業 タイトル : 「笑って学ぶSDGs」 講演者 : たかまつ なな氏(お笑いタレント) ゲスト : ハマカーン(お笑いコンビ)	19:45 ~ 20:45

# シンポジウム参加者

## 1 全体参加者数

278人

## 2 年代別

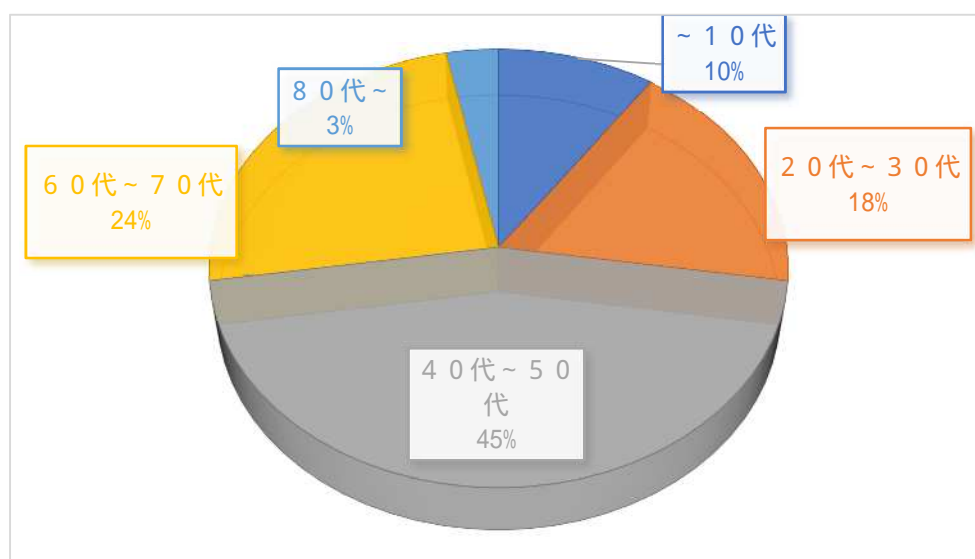
年代別の参加者数は以下のとおり。

なお、シンポジウム序盤のパネルディスカッション時に参加者数を集計したこと、集計に参加していなかった幼児や小学生がいたことから、実際の参加者数より合計数が少なくなっている。

<年代別 集計表>

年代	人数(人)	割合(%)
～10代	18	10
20代～30代	33	18
40代～50代	84	45
60代～70代	45	24
80代～	6	3

<年代別割合 グラフ>



### 3 参加者の傾向

昨年度実施したシンポジウムを含め、これまで実施してきた様々な市民参加の取組の参加者については、比較的高齢者世代が多数を占めていたが、今回のシンポジウムでは、子育て世代や働き世代など、幅広い年齢層の参加があった。

昨年度シンポジウムとの比較は以下のとおり。～50代までの層については、昨年度より33%も増加している。幼児や小学生が集計に参加していなかったことを踏まえると、実際には10代以下の参加者数はさらに多かった。

<平成30年度 実施シンポジウム（～50代参加者数）>

年代	参加者数（人）	割合（％）
～10代	4	2
20代～30代	28	14
40代～50代	48	24
合計	80	40

令和元年度 実施シンポジウム（～50代参加者数）

年代	参加者数（人）	割合（％）
～10代	18	10
20代～30代	33	18
40代～50代	84	45
合計	135	73



# 実施結果 「パネルディスカッション」

## 1 実施概要

### (1) タイトル

「みんなで考えるこれからのさがみはら」

### (2) テーマ

「市の課題やこれからの相模原市に必要なこと」

### (3) 内容

様々な分野からパネリストを呼び、これからの相模原市について討論会を開催した。パネリストから来場者に質問を投げかけながら進行する、来場者参加型で実施した。

## 2 実施方法

### (1) 実施の流れ

分野ごとにディスカッションを進行した。実施の流れについては、以下のとおり。

パネルディスカッション全体流れ

流れ	内容
始まり	パネリスト紹介・進め方・アイスブレイク
討論	障害・共生について
討論	女性活躍について
討論	子育て・教育について
討論	シビックプライドについて
討論	経済について
終わり	会場からの質問・まとめ

(2) 来場者参加型

来場者全員に意思表示できるコントローラー(クリッカー)を渡し、各分野の討論時に、会場に質問を投げかけながら進行した。回答結果は、すぐに会場スクリーンに映し、その結果が会場全体で分かるように実施した。

意思表示できるコントローラー(クリッカー)



アンケート例

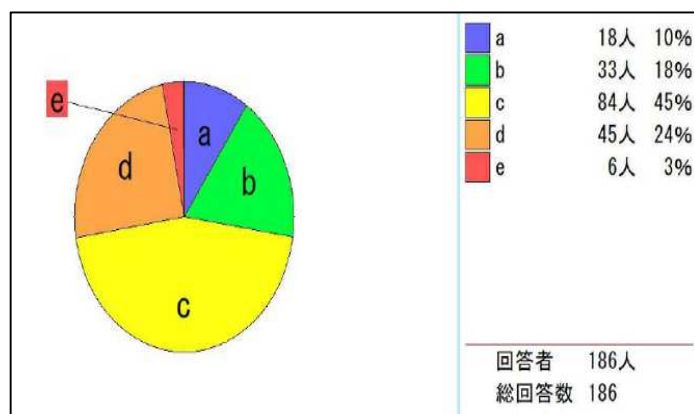
**質問**

「ご来場の皆様の年代は？」

- ① ~10代
- ② 20代~30代
- ③ 40代~50代
- ④ 60代~70代
- ⑤ 80代~

相模原市マスコットキャラクター「みさがみん」

回答結果例



### (3) ファシリテーター・パネリスト

ファシリテーターとパネリストについては、以下のとおり。

#### ファシリテーター兼パネリスト：金森 剛 氏（かなもり つよし）

**相模女子大学副学長・社会マネジメント学科教授**

- ・(株)野村総合研究所に長年勤務した経験を生かし、マーケティング・経営戦略論などについて、実務に即した講義を行っている。
- ・相模原市総合計画審議会の副会長を務めている。



#### パネリスト：中澤 吉裕 氏（なかざわ よしひろ）

**日本車いすテニス協会 ナショナルチーム 監督**

- ・長年にわたり本市において車いすテニスの普及に寄与している。
- ・日本車いすテニスナショナルチーム監督として、パラリンピックで選手を銅メダルへ導いた。



#### パネリスト：遠田 文江 氏（とくだ ふみえ）

**有限会社たけみや 代表取締役**

- ・「相模原中の女性をキレイに、元気に、幸せにしたい！」をコンセプトに、化粧品とエステのお店「たけみや」を運営している。
- ・女性が働きやすく、活躍できる職場を提供し、市ホームページで「女性活躍推進企業」として紹介されている。



#### パネリスト：笹野 和子 氏（ささの かずこ）

**相模原市子ども・子育て会議委員**

- ・幼稚園教諭として勤務
- ・その後、こどもセンター・子育て広場会長、親子サロンの子育てサポーターなどを務め、地域の子育て支援に寄与している。



#### パネリスト：本村 賢太郎 氏（もとむら けんたろう）

**相模原市長**

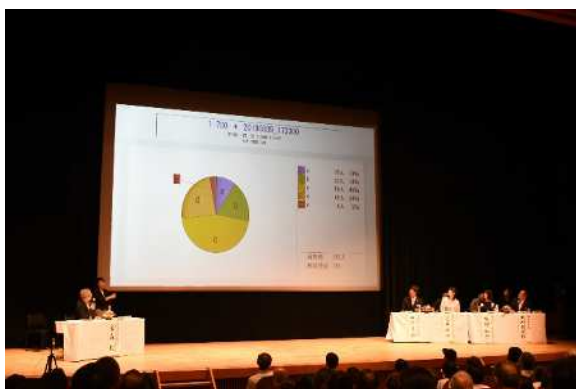
- ・相模原市で生まれ育ち、今年度から相模原市長に就任
- ・神奈川県県議会議員や衆議院議員などを務める



### 3 実施結果

分野ごとにパネルディスカッションを実施した。討論内容の概要や質問内容、回答結果については次ページのとおり。

#### パネルディスカッションの様子



## ○相模原市の課題やこれから必要なこと

中澤氏

- ・車いすテニスのナショナルチームの監督をして2020年に向かって選手の強化、メダルを取れるようにとすることで日々邁進している。それ以外でも自分の会社をもちスポーツの力、勇気を与えられたらなという活動をしている。
- ・私はもう20年以上車いすの方と一緒にテニスをしているが、接し方について余り考えたことがない。何故かというともともと一人の人としてしか見ていなくて、その方がたまたま車いすに乗っていたと言う事である。
- ・その人の特徴ということで、その場合どういう風にその選手が強くなれるのかなと包括して付き合っていて、そこから人となりが出てきて、段々関係がよくなっていく。
- ・眼鏡をかけていると「素敵な眼鏡ですね」ってほめて貰えるように、車いすに乗った人も「その車いすがかっこいいですね」って言われるような時代が来ると良いと思ってる。
- ・世界ツアーを回っている際に、リフレッシュで食事に行くが、海外のお店は全部バリアフリーで素晴らしい環境かと言うと実はそうでもない。
- ・ただ温かいなと思うのは段差のあるレストランに行っても、「車いすに対応していませんからうちのレストランは使えません」というのでなく、段差があったら「どうしたらいいか」、「ここちょっと持ち上げてもらっていいかな」、「じゃ、手伝ってくれる」と、普通に会話があることである。
- ・相模原市としても2020年オリンピック・パラリンピックがあって、建物のバリアフリーを進めているが、一番大事なことは心のバリアフリーではないかなと思っている。



## ○会場への質問

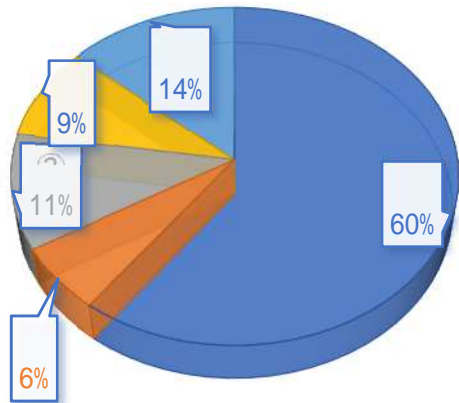
### 質問

共生社会を実現するために、最も必要なことは何だと思いますか？



- ① 一人ひとりの相互理解（心のバリアフリー）
- ② 訪問介護など、障がい福祉制度の充実
- ③ バリアフリー等、施設の整備
- ④ 障がいについての講演会や、体験会の実施
- ⑤ 障害者雇用の推進

## ○回答結果



「共生社会を実現するために、最も必要なことは何だと思いますか？」

- 一人ひとりの相互理解（心のバリアフリー）
- 訪問介護や自立支援など、障がい福祉制度の充実
- バリアフリー等、障がいの特性に合わせた施設の整備
- 障がい者についての講演会や、体験会の実施
- 障害者雇用の推進



## ○回答結果を踏まえて

### 本村市長

- ・共生社会実現というのは私自身も非常に考えている。
- ・アンケートの中でも「心のバリアフリー」が一番多かったが、私も、同じように感じている。
- ・私も小学校6年間、知的障がい者の方と登下校を一緒にし、6年間席も隣でした。政治家になるきっかけがそういうお友達が伸び伸びと生活できるような環境を作って行きたいと思ったことであった。
- ・心のバリアフリーを皆さん一番に選んでいることから、私も原点に戻って考えなければならないと思う。
- ・中澤さんにはパラリンピックを通じて、これから車いすテニスの相模原大会を全国規模で開けないかという話もしている。その点も皆様には応援してもらいたい。
- ・パートナー制度については、渋谷区でも入っていますし、これから横浜市でも令和3年度から進めていくようである。相模原市においてもこのパートナーシップ制度に関しても近々実現できるように市議会の皆さんと連携しながら考えていきたい。

### 金森氏

- ・「心のバリアフリー」は、お金があれば解決するとう事ではない。どのようにしたら進むのか。

中澤氏

- ・「心のバリアフリー」は、非常に見えにくく、図りにくい物である。だからこそやりがいのあることである。
- ・予算があるからやるものでもなく、行政が決めたからやることでもなく、学校教育だからとやるものでもない。どうしたらいいかこれはもう策はないと思っている。
- ・皆さん自身がどう考えて行動する事が重要で、これをきっかけに、相模原市内で車いすに乗っている方がいたら、勇気を持って手伝ってあげようとか、第一歩をスタートしてもらえれば嬉しい。
- ・相模原市で車いすの大会をやりますという話がありましたが、そういうところに皆さんに来ていただいて同じ時間を過ごすということが大事だと思う。
- ・堅苦しく勉強するというのも大事かもしれないが、一緒に時間を過ごすというのが一番関わりやすいことで相互の理解が深まり楽しい時間になるのではないかと思う。



## ○相模原市の課題やこれから必要なこと

遠田氏

- ・20数年前から、相模原市で化粧品のお店をやっているが、開業当初は、個人事業主としてやっていたため、働いている人たちもパートで雇用していた。
- ・女性が活躍する場を広げ、スタッフが夢を描き、希望をもって働いてもらえる場所にしたいと思った時に、事業所を法人化するという決断をした。
- ・また、スタッフが徐々に増えていく中で、「フルタイム一生懸命頑張って働きたい」、「結婚や出産などの選択をせずに働いて行きたい」というスタッフが現れた時に、ここで働き続けたいと思われるような経営をしたいと考えた。
- ・法人化することによって、健康保険などのことはもちろんだが、スタッフ達が、「正社員」という社会的信用を獲得できたことが1番よかったと思っている。
- ・当時の美容業界は、短い時間で不安定なパートの採用で働く方たちが多くて、特に女性の仕事への定着化が低いというのが気になっていた。
- ・スタッフが笑顔でいられること、楽しい気持ちで働けることがお客様にも伝わっていき、スタッフが満足して働いてもらえることがお客様の感動に繋がっていく。
- ・一方で女性のライフイベントには、結婚や出産、親の介護などがあり、時間を取られることが多く、そこで離職率が上がるという傾向としてある。
- ・女性たちが活躍する社会を作るにあたっては、女性たちが大変な時期の家族の協力や、地域の環境、会社の環境が重要である。
- ・相模原市には、市が行っている数々の政策があるが、それが中々私たちに見えにくいと言う所がある。もっとわかりやすく、もっと伝わりやすく発信して頂けたら、これからの女性が活躍する社会に繋がると思っている。



## ○会場への質問

### 質問

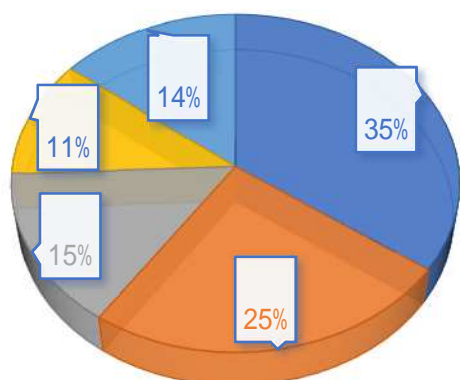
女性が社会で活躍しやすくなるために最も必要なことは何だと思えますか？



- ① 社会保険や休暇制度など、働きやすい環境づくり
- ② 家族の理解や協力
- ③ 保育園や託児所、児童クラブなど、預け先の充実
- ④ 親の介護など、地域の協力と施設の充実
- ⑤ 女性でも責任のある職務に就ける企業風土



## ○回答結果



「女性が社会で活躍しやすくなるために最も必要なことは何だと思いますか？」

社会保険や休暇体制など働きやすい環境づくり  
 家族の理解や協力  
 保育園や託児所、学童など、子供の預け先の充実  
 親の介護など、地域の協力と施設の充実  
 女性でも責任のある職務に就ける企業風土



## ○回答結果を踏まえて

### 遠田氏

- ・女性の場合は一度離職した後、再雇用の制度をしっかりと整備していくことが必要だと考えている。
- ・また、有給制度も充実してきたが、時間単位で取得できるとか、そういったことも大事だと思っている。
- ・しかし、私は、一番大事なのはお互い一緒に働いている仲間の理解や協力ではないかなと思っている。
- ・色んな環境の方がいて、いろんな状況の方がいる中で、「子どもの具合悪くてお休みしたい」と言った時には、代わりに出てあげるような普段からのコミュニケーションが一番重要であると思う。

### 中澤氏

- ・このアンケートに掲げている5つの回答は、全てが重要である。
- ・スポーツ界でも女性の指導者というのが今求められている。これは男性が劣っているということではなく、ゴールに向かっていくためには色んな力が必要だということである。
- ・男性女性というのは、それぞれが違う特性を持っていると思うので、そこは認め合って一緒にやっていくことで女性の方達の力を発揮できる場所が増えていき、我々男性も刺激を受けてお互いに切磋琢磨していくことになるのではないかと考えている。

金森氏

- ・先ほど遠田さんから市の制度が見えにくいというのがあったが、5つの選択肢を見ても、どちらかと言うと企業努力の方が中心になってきている気がする。市にももう少し頑張ってもらいたい気持ちもある。

遠田氏

- ・今回このお話を頂いたときに色々勉強したが、その時に相模原市はこんな事もやっているのだということが沢山あった。
- ・それを当事者が求めていけば見れるが、一般に普通に生活している私たちに中々目に触れない。もう少しわかりやすく伝える方法があるのではないか。
- ・また、私も仕事するにあたって夫や父の理解や協力なくてはここまでやってこれなかった。世の中の女性が育児や介護の時にご主人の協力や家族の方の協力があるとすごく助かると思う。
- ・男性の今育児休暇や介護休暇とかの制度はあるがそれを取得している人が非常に少ないというデータも目にし、相模原市がそこをリードし、その制度を利用するような施策をお願いしたいと考えている。



## ○相模原市の課題やこれから必要なこと

笹野氏

- ・女性が社会に出て活躍する時代になり、国も女性が働きやすい環境をつくるという方向に動き出してきていると思っている。
- ・それに伴い、保育園や学童保育などの充実が今課題になっている。
- ・相模原市は女性が赤ちゃんを授かった所から働きかけがあり、出産時には異常があった時に、大学病院の受け入れや保健士の訪問など、多くのケアがされている。
- ・そして、なによりこの自然豊かな生活環境と子育て環境と言うのを見ると、ある程度相模原市の子育て環境は整えられてきているのかなと感じている。
- ・会場の皆様は相模原市の子育て環境について、どのように感じているのか。



## ○会場への質問

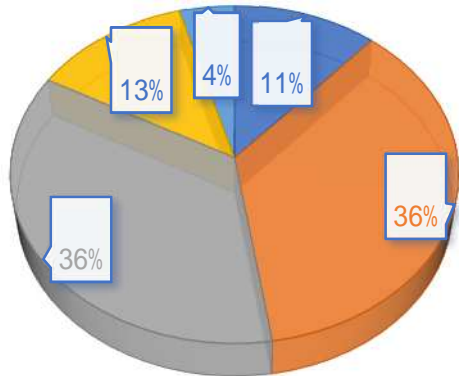
### 質問

相模原市の子育ての環境は充実していると感じますか？



- ① とても充実している
- ② 充実している
- ③ どちらともいえない
- ④ 充実していない
- ⑤ 全く充実していない

○回答結果



「相模原市の 子育ての環境は 充実していると 感じますか？」

とても充実している

充実している

どちらともいえない

充実していない

全く充実していない



○回答結果を踏まえて

笹野氏

- ・私は子どもセンターで開かれている、就園前までの乳幼児さんの親子を対象にした「子育て広場」に2ヶ所関わっている。
- ・学童保育などかなり充実してきており、待機児童が減ってきているというのは実感しているが、施設の内容、質の面ではどうであろうか常に考えている。
- ・出生率は低下しているが、保育所、学童保育を希望される方は年々増加している。
- ・また、建ててから約20年たっている子どもセンターが多いことや、子どもセンター内で学童保育も行われていることなどから、開館当初の予定人数の倍以上の子供たちが来ている状況である。
- ・さらに、以前からあった子供会や自治会離れが進んできており、子供たちが居場所を求めて、子どもセンターに来ることも理由です。
- ・今ちょうど夏休み中であるため、子どもセンターに、小学生と乳幼児で入りまじっている状態になっている。
- ・時にはおちついてゆっくり過ごせるような環境を作ってあげられないかなと日々感じているところである。
- ・また、些細なことでもお母さんたち同士が相談できるスペースがもっと取れないかなと言う風にも考えている。

- ・市の財政を考えると新しい建物を作ることは難しいので、既存の建物を有効に使っていければ良いと思っている。
- ・いつも話を聞いてくれる人がいる、そんな環境を作りたいと子育て広場のスタッフは日々努力している。どうか子供の数にあったスペース確保を早急にお願いしたい。
- ・豊かで好奇心を持った子供を育てるための、「自然環境」が相模原市には幸せなことに沢山ある。その環境を十分に生かし、色々な立場な大人達がもっと前向きに意見を出し合い、工夫して、子どもたちを地域のたからものとして育てていかなければならないと感じている。
- ・「子供たちが笑顔ですくすくと育つことができる環境こそ、市民みんなが笑顔で暮らせる環境である。」と、私は考えている。

遠田氏

- ・私も相模原で2人の子供を育てた経験がある。その際に、本当に保育園や学童保育にはお世話になった。私自身は感謝しかない。
- ・親に成り代わって一緒に子育てをしてもらえ環境がありがたかったと思っている。
- ・ただ、今笹野さんの意見でもあったとおり、保育、子育てを取り巻く環境は、待機児童こそ減ったものの、中身、保育の質はかなり問われていると思う。
- ・子どもセンターの中に学童があるということが、混雑している原因だと思うので、できることなら、その機能を半々にして施設を作ってもらえると、より良い環境で子育てができ、相模原市に子供が沢山出来るのではないかと考えている。



## ○相模原市の課題やこれから必要なこと

### 本村市長

- ・シビックプライドという相模原市民としての誇りを共感、郷土愛、これらの醸成を図って行きたいと考えている。
- ・少し前に、民間企業が「自分たちの街に誇り、共感、郷土愛をお持ちですか？」とアンケート調査を実施致したが、相模原市は150市の中で146番目という結果であった。
- ・自分たちの街の事をもっと皆さんに知ってもらい、相模原市に関りがある人、住んでいる人、子育てをしている人、仕事に来ている人、学校に通っている人、相模原市にご縁のある人など、72万以上の多くの方が、相模原市に対する誇りや、共感、郷土愛が醸成できるような環境を作って行きたいと思っている。
- ・そのために、私たち行政サイドも相模原市の事を沢山皆さんに情報発信していく。そして皆さんからも「こんな良いところだよ」と言うことを発信していくことが、シビックプライドの情勢に繋がっていくと考えている。
- ・相模原市はシビックプライドの条例制定に向けて勉強をスタートしており、相模原市の未来を、皆さんと一緒に作って行きたいという思いがある。



## ○会場への質問

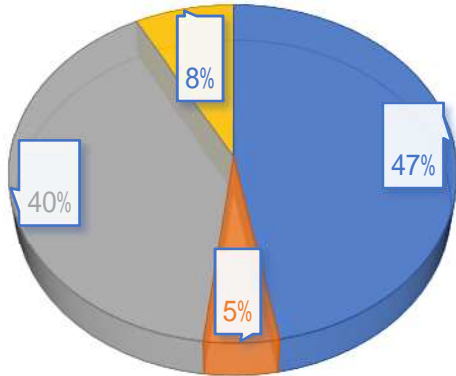
### 質問

「他県に行った際に『どこから来たの?』と聞かれ、なんと答えますか?」

- ① 「相模原市から来た」
- ② 「横浜の方から来た」
- ③ 「神奈川県から来た」
- ④ 「その他」



○回答結果



「他県に行った際に「どこから来たの」と聞かれ、なんと答えますか？」

- 「相模原市から来た」
- 「横浜の方から来た」
- 「神奈川県から来た」
- 「その他」

○会場への質問

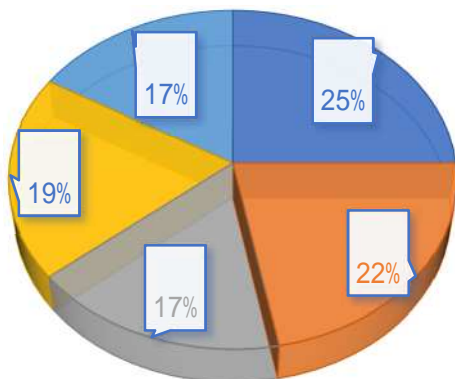
質問

「市に対する郷土愛や誇りを高めるためには、どのようなことが最も大事だと思いますか？」



- ① 相模原市と言えば、「これ！」というものをつくる
- ② 今ある魅力をもっと工夫してPRする
- ③ まちづくりに市民がもっと参加できる仕組みをつくる
- ④ 住んでいる人に優しい、様々な仕組みを充実させる
- ⑤ 買い物、遊び、憩いなど、なんでも揃う、人で賑わう場所をつくる

○回答結果



「市に対する郷土愛や誇りを高める為には、どのような事が最も大事だと思いますか」

- 相模原市と言えば、「これ！」というものをつくる
- 今ある魅力をもっと工夫してPRする
- まちづくりに市民がもっと参加できる仕組みを作る
- 住んでいる人にやさしい、様々な仕組みを充実させる
- 買い物、遊び、憩いなど、何でも揃う、人で賑わう場所をつくる

○回答結果を踏まえて

本村市長

- ・「相模原市から来た」とう方が意外にも多く、自信を持った。「神奈川県からきましたよ」と言う方も多いようであるので、それを「相模原市から来た」と言うことで、心の中を変えて頂けると嬉しい。
- ・「相模原市と言えばこれと言うのを作る。」で言えば、例えばお土産を田舎に帰るときには相模原市の名物といったら何かなと考えるところから始まると思う。
- ・相模原は JAXA 相模原キャンパスもあり、宇宙事業を組み合わせ相模原市の魅力を皆さんと一緒に考えて次の世代につないでいきたいと思っている。
- ・リニア中央新幹線新駅がこの橋本に令和 9 年に共用開始される予定であるが、駅ができて完成ではない。街づくりは 20 年 30 年かかる。新横浜駅も 20 年 30 年かけて今の形ができた。
- ・この橋本駅も、どんな橋本を作っていけば、品川から乗ってきた人、山梨や岐阜から乗ってきた人を、「相模原で一泊していこう」、「相模原で食事していこう」といった思いになるのか、これからの街づくりを、皆さんと一緒に考えていきたい。

笹野氏

- ・横浜だったら港、川崎だと大きな工場地帯などがある中、相模原は何かと考えた時、私はやっぱり自然かなと感じた。
- ・相模原市は、都会に近い田舎と感じている。うまくその特性を利用すれば、何か楽しいことができ、外部から来る人も増えたりすると考える。





## ○相模原市の課題やこれから必要なこと

金森氏

- ・私は先ほど紹介があったようにもともとビジネスマンをしていて、12年前に相模女子大学に赴任している。
- ・以前は東京にずっと通っていて、毎朝毎晩、通勤電車地獄の中で働いてきたが、現在はそれらとは無縁であるため、非常に気持ちがいい。
- ・職住近接であり、相模原市で勤めていてすごく楽しいと感じている。このような働き方が増えると良いのではないかと考えている。

## ○会場への質問

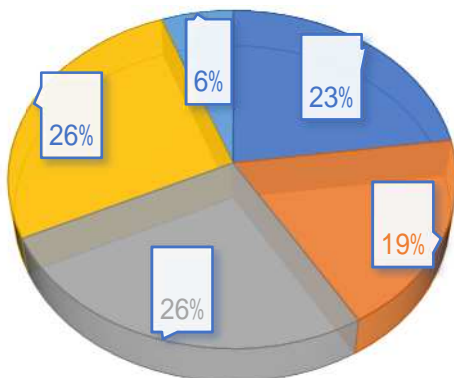
### 質問

あなたが相模原市内で仕事をするとしたら、どんな仕事がしたいですか？



- ① 一部上場企業の相模原支店で勤務
- ② ベンチャー企業の相模原オフィスでの勤務
- ③ 仲間と一緒に相模原市内で起業する
- ④ 経験・資格を活かして、相模原市内で個人事務所を開設する
- ⑤ 相模原市内では仕事をしたくない

## ○回答結果



「貴方が相模原市内で仕事するとしたら、どんな仕事をしたいですか」

- 一部上場企業の相模原支店で勤務
- ベンチャー企業のさがみはらオフィスに勤務
- 仲間と一緒に相模原市内で個人事務所を開設する
- 経験・資格を活かして、相模原市内で個人事務所を開設する
- 相模原市内では仕事をしたくない

○回答結果を踏まえて

金森氏

- ・「相模原市内では仕事をしたくない」の除き、他の選択肢は分かれたが、「起業したいという人」も結構多い結果である。
- ・この間、東京、神奈川の5000人に「起業に興味がありますか？」とアンケートを取ったときは、20歳から50歳の男女において、大体20%ぐらいいた。副業まで入れると40%ぐらい興味があるという結果であった。
- ・皆さんも同程度の回答結果であったと思っている。
- ・実は相模原市は、全国主要都市の中で、起業率第4位であり、結構会社が生まれている地域である。
- ・72万人の住んでいる多くの方は、市外で働いているのかもしれないが、私はやはり、職住近接で、市を盛り立てながら、生活していき、楽しく生きていく、そのような人がもっと増えるといいと思っている。

本村市長

- ・相模原市は、今金森さんが言われたように全国主要都市の中で起業率第4位になるが、若者に限ると全国第2位である。
- ・非常に起業される方が多く、SICと言った起業家を育てるような施設も持っている。起業家がさらに増えたらいいなと思っている。
- ・皆さんから見ると大手企業が相模原市から離れて行っているというイメージがあると思うが、これを私のトップセールスで、相模原市で生まれたお子さんたちが相模原市で育ち、相模原市で仕事ができる環境を作って行きたいと考えている。
- ・相模原市は、昼夜間の人口比率が逆転しており、昼夜間比率88%台である。政令市20市で昼夜間人口比率が逆転しているのは、相模原市、川崎市だけである。
- ・昼間は東京、横浜に仕事に行かれる方が多いが、昨今オリンピックに向けて、テレワークなんかの話もある。テレワークの導入も含めて、働き方改革をしっかりと行きたいと思っている。
- ・私自身も皆さんと対話をしながら、起業誘致をしていき、シニア世代からお子さんやお孫さんの世代など、幅広い世代の方が相模原市で仕事ができる環境を作って行きたいと思っている。

## ○会場からの質問

### 質問者

- ・市長にお聞きしたいが、相模原市は、ふるさと納税の損失をしている。
- ・先ほど、シビックプライドの話の中で、「相模原にこれと言ったものがない」といったことがあったが、そのことが原因でそういった現象が起きているのではないかと心配している。現実はどうなのか。
- ・皆さん、故郷を愛するという気持ちよりも、品物を目的に、ふるさと納税していると考えている。そういったことが相模原市で起きてるんじゃないかと心配している。いかがであるか。

### 本村市長

- ・ふるさと納税については、正確な数字を把握していないため、すぐにお答えすることはできませんが、ご指摘の通りのこともある。
- ・ふるさと納税に関しても、実際多くの政治家の中でも賛否分かれていることもあるが、返礼品で相模原市の特産品を生かすなど、取り組んで行きたいと思っている。

## ○まとめ

### 金森氏

- ・それぞれの分野の話を聞いて頂き、会場の皆さんも感じるところがあったのではないかと思う。
- ・市長にあれやれこれやれと要望するだけでは中々うまくいかないと改めて感じた。
- ・市には努力して頂くとして、心のバリアフリーや、教育の問題、女性の活躍など、全てそうだが、企業や市民がそれぞれ努力して、一緒に協力していかないと次のいい10年は来ないんだなと思った次第である。



## 実施結果 「特別授業」

### 1 実施概要

#### (1) タイトル

「笑って学ぶSDGs」

#### (2) 内容

お笑いジャーナリスト「たかまつなな氏」、お笑いコンビ「ハマカーン」による、まったくSDGsを知らない人も、楽しく学べる特別授業を開催した。特別授業終盤には、来場者参加型で「SDGsババ抜きゲーム」を実施した。

#### SDGs (エスディーゼズ) とは？

地球には環境や人権など、様々な問題があり、それらの問題を解決するため、明確な目標を定めた17の目標のこと。

2015年9月の国連サミットにおいて、加盟国193か国で採択されたもので、期間は2016年から2030年までの15年間としている。

### 2 実施方法

#### (1) 実施の流れ

実施の流れについては、以下のとおり。

特別授業全体流れ

流れ	内容
内容	3分で分かるSDGs
内容	17の目標を見てみよう
内容	日本の達成状況
内容	SDGsババ抜きゲーム
内容	SDGsで社会を変えるために

## (2) 講師・ゲスト

講師とゲストについては、以下のとおり。

### 講師：たかまつ なな 氏

#### お笑いジャーナリスト

- ・1993年神奈川県横浜市生まれ
- ・慶応義塾大学大学院政策メディア科、東京大学大学院情報学環教育部終了
- ・フェリス女学院出身のお嬢様芸人として数多くのTV番組に出演し、若者への政治意識の喚起を促している
- ・「笑って学ぶSDGs」など、お笑いを通じて社会問題を学べるコンテンツを、全国の自治体、企業、学校などに届けている



### ゲスト：ハマカーン

#### お笑いコンビ

浜谷 健司 氏(はまたに けんじ)

神田 伸一郎 氏(かんだ しんいちろう)

- ・東京農工大学の柔道部の先輩・後輩として出会い、2000年にお笑いコンビ結成。
- ・「THE MANZAI 2012」で優勝し、大ブレイク。2019年5月漫才協会に入会。
- ・現在は、バラエティを中心に活躍中。ケイダッシュステージ所属。



## 3 実施結果

2(1)の実施の流れのとおり、特別授業を実施した。講義内容の概要などについては次ページのとおり。



「SDGsをお二人はご存知ですか？」



「・・・という状態です。(笑)」



「まだSDGsの日本での認知度は約17%と言われていて、知らない人が多いです。」

「世界には沢山課題がある。その問題を解決するために、2030年までにみんなで取り組む17個の目標を国連が作り、この17の目標の事をSDGsと名付けました。」



「何かの略なんですか？」



「Sustainable Development Goals (サステイナブル・デベロップメント・ゴールズ)の略で、日本語にすると「持続可能な開発目標」になります。」



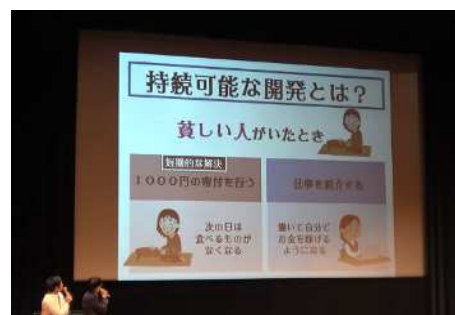
「ちょっと何言っているかわからないです！」



「何言っているかわからないですよ。(笑) 具体例をもとに考えていきたいと思えます。」

「例えば貧しい人がいた時に、『1,000円の寄付を行う。』という解決方法。ただこれってこの人次の日には食べ物が無くなってしまい、短期的な解決です」

「そうではなくて、『この人に仕事を紹介しよう。』という解決方法であれば、そうするとその人は働いて自分でお金を稼げるようになり、これが持続可能な解決方法ということになります。」





「なるほど！分かりやすい！」



「そして、SDGsは経済だけで追い求めてはだめです。環境にも配慮しなくてはいけない。また、私達の暮らしや社会のことも考えなくてはいけない。さらに平和な状態じゃないと達成できない。」

「そして、何より、SDGsは一人や1つの会社、1つの国では達成が難しい。だからみんなで連携しましょうということなんです。」



17の目標を見てみよう



「では次に、SDGsには17個の目標があるという事を最初にお伝えしましたが、どんな目標があるか見ていきたいと思います。」



「こちらの画像は、私がネパールに行ったときに撮影したのですが、この子たちの共通点分かりますか？」



「インスタグラムのフォローが増えない！」



「インスタグラムはこの子たちはやっていません！（笑）」

「この子たちはレンガ工場に出稼ぎに来ていたのです。自分たちの村には仕事がなく、仕事を求めて家族で出稼ぎにやって来て、もちろんお金がなく、学校にも通っていないという事です。」





「えーうそー！超子どもでしたよ。」



「これは、SDGsの17の目標で言うと、NO1『貧困をなくそう』になります。」



「では、こちらの画像は、私がネパールに行った時に撮影したのですが、この建物は、何のためのものか分かりますか？」



「ホームアローンの次回作！」



「違います！（笑）」

「これは、私も衝撃を受けました。人身売買された子を匿う、NGOのシェルターだったんです。」

「私が話を聞いたところ、サーカスを見に行かないかと誘われ、字が読めない、何が書いてあるのかわからなかったけど、自分の名前ぐらいいはかろうじて書けるから紙にサインをしたら、それが人身売買の契約書だったんです。」



「えー何それ！そんなことが世界にはあるんですね。」



「これは、SDGsの17の目標で言うと、NO16『平和と公正をすべての人に』になります。」





## 日本の達成状況



「では、日本はどのくらいSDGsを達成できているか」

「これは過去に色々な国の取組状況を数値化したランキングですが、日本は15位なんです」

順位	国名	順位	国名
1	デンマーク	11	ニュージーランド
2	スウェーデン	12	スロベニア
3	フィンランド	13	イギリス
4	フランス	14	アイスランド
5	オーストリア	15	日本
6	ドイツ		
7	チェコ		
8	ノルウェー		
9	オランダ		
10	エストニア		



「あら15位！」



「そうなんです。17の目標の中でも達成できているものと、できていないものがあります。」

「日本の達成できていないとされている目標は、NO5『ジェンダー平等を実現しよう』、NO12『つくる責任つかう責任』、NO13『気候変動に具体的な対策を』、NO17『パートナーシップで目標を達成しよう。』になります。」



## SDGsババ抜きゲーム



「では、ここからはですね、日本の課題SDGsをもっと知るためにゲームをやりたいと思います！」

「SDGsババ抜きカードゲーム！！」



「皆さん参加型？」



「はい参加型です。ババ抜きが出来る人数5～6人のグループを作って頂きたいと思います。」

「では、ルールをご説明いたしたいと思います。」



「基本ルールはババ抜きと同じです。手札にSDGsカードがそろったら、捨てるというルールになっております。全てのカードを捨てたらあがりです。」

「但し、普通のババ抜きと少し違います。カードが揃ったときに、『指示カード』を引き、同じグループの人に聞こえるように音読してから、書いてある指示をやって下さい。」



「カードを捨てる際には、SDGsの目標を読み上げて下さい。例えば1番が揃った時には『1番貧困を無くそう!』と言ってからカードを捨てます。」



「なるほど!分かりました。」



「では、SDGsババ抜きカードゲームスタートです!!」

～ゲーム中～



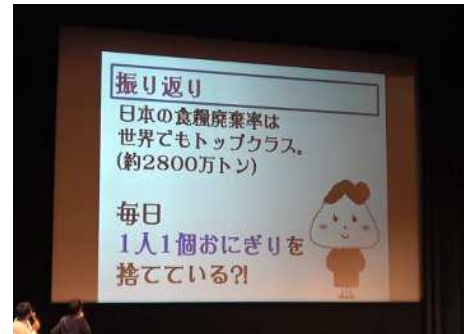


「勉強になったなー！面白いですね。ゲーム感覚で。」



「ゲームを振り返りながら、日本の課題について、解説していきたいと思います。」

「指示カードに『全身でおにぎりを表現してください』とありましたが、これは、日本の食料の破棄率はトップクラスと言われていて、平均すると、毎日1人あたりおにぎりを1個捨てているということなんです。」



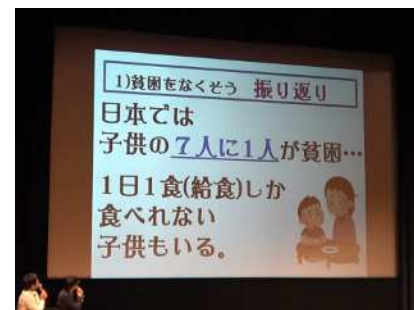
「へー！」



「食材を買いすぎず食べきるとか、食べて安全な期限が『消費期限』、美味しく食べられるのが『賞味期限』、その違いを知っておくことが大事です。」



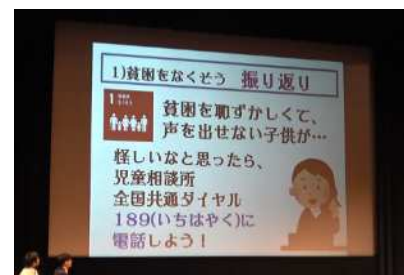
「指示カードに『助けてー！と大声で叫びましょう』とありましたが、これは、日本では子供が7人に1人は貧困状態にあるといわれていて、1日1食しか、給食しか食べられない子供も中にはいるということなんです。」



「一方では、おにぎりを1人1個捨てている計算なのに・・・」



「皆さん、この子大丈夫かなと思ったら、いきなり警察に電話するのちょっと難しいかもしれないので、まずは、児童相談所全国共通ダイヤルにいち早く相談することが大事です」





「SDGsに対応するように見せかけているけど実は何もやっていない場合があり、この事を『SDGsウォッシュ』と言います。」

「例えば、私の会社は食品を販売しているからこの17個の中だと1番の貧困をなくそうと貢献しているかなど、1番をペタッと貼り付けるんです。けど実は何もやっていない。」

「こういうのは、私達は見抜かないといけないんです。」



「じゃSDGsで社会を変える為には、どうしたらよいのかという事です。」



「政府や自治体、学校、企業など、今あらゆる団体がSDGsを進めようとしています。」

「ところがどうでしょう。皆さんのコミュニティでSDGsの話をしたりとか、家族でSDGsの話をしたりにしていますか？」

「家に帰って、ちょっとSDGsの話をしようとか、お友達にSDGsを知ってもらおうということだけでも大きいかと思います。」



「なるほど」



「何かを始めてみる。社会に貢献する。すごく楽しいことなので、皆さんにもこの楽しさ味わって頂きたいなと思います。」

「今日をきっかけにして、私たちが出来る些細な一歩、できる事から始めて頂きたいなと思います。」



終了後記念写真



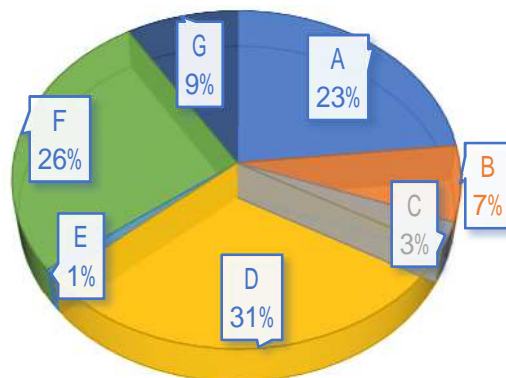
## アンケート結果

シンポジウム終了後に参加者に対して、アンケートを実施した。結果は以下のとおり。質問詳細は資料編「アンケート」参照。

### 1 今回のシンポジウムは何で知りましたか？（複数回答可）

A：広報さがみはら	45	23%
B：市のホームページ	14	7%
C：市のフェイスブック	5	3%
D：ポスター・チラシ	59	31%
E：新聞	2	1%
F：家族・友人・知人など	51	26%
G：その他	17	9%

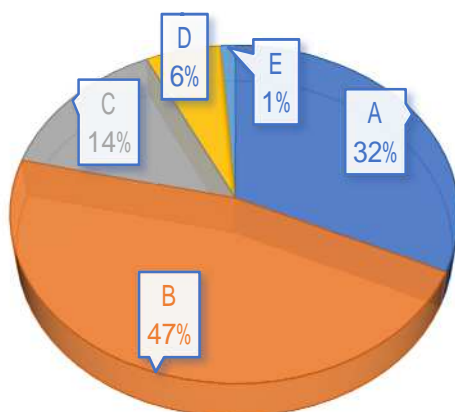
・市職員から	5人	・ナナさんFBから	2人
・市長FBから	2人	・パネラーから	2人
・自治会会議にて	1人	・読売新聞相模告知板	1人
・eネットさがみ	1人	・市教育委員会	1人
・杜のホール	1人	・公民館	1人



## 2 今回のシンポジウムはいかがでしたか？

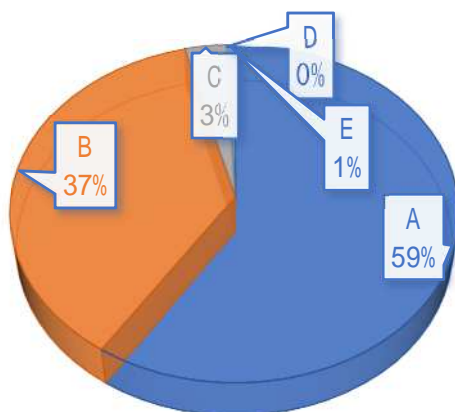
### (1) パネルディスカッション「みんなで考えるこれからのさがみはら」

A：とても面白かった	54	32%
B：面白かった	79	47%
C：どちらともいえない	24	14%
D：あまり面白くなかったなかつた	10	6%
E：まったく面白くなかつた	2	1%



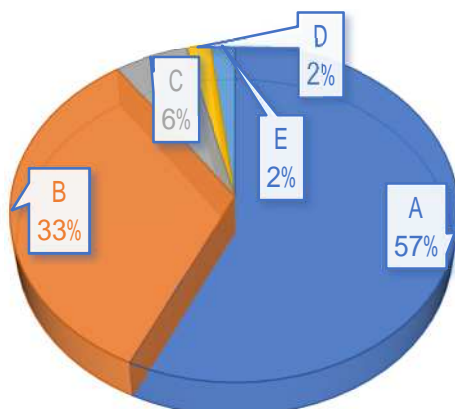
### (2) 特別授業「笑って学ぶSDGs」

A：とても面白かった	90	59%
B：面白かった	56	37%
C：どちらともいえない	5	3%
D：あまり面白くなかつたなかつた	0	0%
E：まったく面白くなかつた	1	1%



(3) またお笑い芸人に、授業に来てほしいですか。

A：とてもそう思う	89	57%
B：そう思う	52	33%
C：どちらともいえない	9	6%
D：あまりそう思わない	3	2%
E：そう思う思わない	3	2%



## パネルディスカッションや特別授業についての自由意見

### ○パネルディスカッションについて

- ・少しむずかしい
- ・パネルディスカッションはもう少し突っ込んだ話が聞きたかった
- ・パネラーの持論を聞く場になっていたのが残念だった
- ・参加者がそれぞれQにたいしてaがどの部分に比率が高いのかわかりとても参考になった
- ・パネルディスカッションの結果に選択内容の明示をして欲しいです。
- ・撮影を許可して頂きたかったです。
- ・ボタンで参加できるのが面白かった
- ・若い人で意見を持っている人が入れたらよいかと思う。
- ・クラッカーの解答円グラフに質問文が表示されると分かりやすかったと思います。
- ・クリッカーを用いた参加型のディスカッションは参加者の私に実際に意思が伝えられ、一体感があつた
- ・パネラーに聞きたい質問を選択肢に提示し択一式にしてはどうか。
- ・もっと色んな話を聞きたかった。アンケート方式はとても面白かった
- ・いろいろな意見がでて、それに対して自分の意見も参考にしてもらえて楽しかったです。



- ・アンケート集計が早くまとめて分かりやすかった
- ・「障害」の「害」の字が漢字とひらがなの混合はいかがなものかと思います。
- ・市長にタイトの要望合戦だった感が
- ・女性のパネラーさんの話の内容が良かった。
- ・もう少し時間をとって良かったと思います。
- ・高齢者施策についての意見も聞きたかったです。
- ・様々な分野の方が思う市の将来像を聞ける良い機会でした。
- ・浅い気がしました。
- ・内容の結果のパネルが記号のみだったので分かりにくかった、質問の項目の横に%が出ると分かりやすかったのでは。参加型は面白かった
- ・パネルディスカッションは時間が不足でもっと意見を交わす時間が欲しい。
- ・障害を持っている方との共生。女性の活躍、子育て市民プライド等それぞれのテーマに区切ってお話頂けたのでとても分かりやすく、参加型なのでとても楽しく、興味関心を持ちながら参加できた。今日は参加できてよかったです。ありがとうございました。
- ・パネルディスカッションは様々な分野の方が現場で実際に感じられていらっしゃる事を伺うことが出来有意義でした。
- ・市長がおっしゃった「シビックプライド」という言葉の意味が分かりませんでした。手元の資料にもすぐに探すことが出来ませんでした。パネルディスカッションはとても(参加型だったので)良かったです。年齢層が若いのか、問題に感じる対象が違っている気もしました。
- ・身近に車いすの人がいて、自分も子育て世代で働いていて全部自分に当てはまるので聞き入ってしまいました。勉強になりました。
- ・パネルディスカッションは現場のリアルな事だと思います。他の方の意見も円グラフに見られてよかった
- ・時間が足らなかったような気がします。18:30ではなくて17:30から開始すればよかったと思います。
- ・市としてのお話も大事だと思います。そのうえで国としてはどうなのかという話があればよりよいのではと思いました
- ・女性の意見が出されていていいと思う。実現可能な事は多いと思う。色々な可能性をせばめず、市民の事を市民の声をもっと聞いてほしい。相模原は好きだが魅力が薄まっている。もっと長所を考えた方がいい。
- ・女性進出が増えると離婚が増えませんか。昔は子供は3歳までは親が育てた方が良くと言われていたので、その時期はお母さんが子育てしたほうが良いかと思います。子供が高学年になって働いてはいかがですか
- ・設問が微妙すぎて押せないものがいくつもありました。

- ・パネルディスカッションで回答が表示される。人数、パーセンテージの両面に質問回答の文言の表示がなくてわかりにくかった。SDGとのなんの項目についての話か、各パネリストの話とのつながりがわかりにくく思いました。正論ばかりでつまらない。障害者問題、介護、育児、学校との付き合い、職場復帰、女性はどれも大変すぎてもうこれ以上頑張れないと思う事が多い。ではどうすればよいのかという現実的な話が聞きたかった。
- ・市長の発言の中に「障害を持つ～」というくだりがあったがこれは失言。持ちたくて障害者になったのではない
- ・共生社会であったり、女性の仕事、ジェンダー等市民としてもう一度考えるいい機会になった。アンケートがすぐ統計として目の前で表示されるのはとても分かりやすく、自分のこととして考えやすい。金森先生お疲れ様
- ・総合計画及び既に完成している基本構想部分について10分ぐらいかけて周知してから始めた方が、パネルディスカッションのつながりが出る
- ・参加型のパネルディスカッションは生の声が見えて、大変興味深かったです
- ・お一人ずつの持ち時間が少ないと思いました。もう少しディスカッションはあったらいいなと思いました
- ・前半は何をしたいのか目的がはっきりわからず、話の内容がまるで興味を引くものがなかった。まったく意味のない内容でした。もっと具体的な話を聞きたかった
- ・パネルディスカッションの人選は何で決定しているのか。総合計画実現に向けて我々市民は何をしたら良かったのですか。行政がやるべきことで終わった気がします
- ・パネルディスカッションは意見を述べて終了しているだけでディスカッションではなかった。
- ・参加型で良かった。意見を言うのは難しいが、アンケートがすぐ見えて分かりやすく参加できる良い方法と思いました
- ・パネラーごとに問いを設定して参加者の考え方を集約することが出来るのは良かったと思う。他のイベントなど使えると思う。パネラーの皆さんの話が分かりやすくもう少し時間があってもよかったと思う
- ・シビックプライドを持つ市長の言葉に共感した。私は小田原で生まれ、結婚で相模原に引っ越ししてきて、横浜で仕事をしてきた。小田原・横浜には市歌があり、小学生から歌ってきたが相模原にはない。上方かるたも群馬にはあるが相模原にはない。作ったらどうか。
- ・パネルディスカッションは物足りなかった。何しろディスカッションになっていなかった。途中あまりの退屈さに・・・
- ・パネルディスカッションは時間が短いと感じた

- ・リアルタイムアンケート面白かった
- ・とても良かったです。全体人数のアンケートが数で示されとても良かった。
- ・パネルディスカッションは機会があれば行った方が良くと思う
- ・パネルディスカッションは質問形式で“参加型なのか”良かったです。今後こう言ったイベントに参加したいと思います。もう少し若者の参加率が増えると嬉しい。家族や友達も連れてきたいです。正直パネルディスカッションは堅苦しい雰囲気かと思っていましたがとても面白かったです。

### ○特別授業について

- ・子ども6人に1人が貧困とは。おにぎりを捨てるぐらいなのに。食べ物に困っているとか。
- ゲームを使って芸人さんの説明はとても受け入れやすかったです。
- ・話が分かりやすくよかった。クイズ形式で楽しめた。
- ・SDGs全く知らなかったの、大変参考になりました。ありがとうございました
- ・楽しかったです。SDGs興味を持ちました
- ・特別授業で色々知らなかったことがわかった。ゲーム方式で楽しく分かりやすかった。出来る事から始めたい
- ・自分の通っている学校でも特別授業を行ってほしい。(相模女子大学高等部)
- ・一緒にカードして楽しかった
- ・ゲームで交流を図ることはとても良かったです。SDGsが身近に感じました。
- ・SDGsの説明をするには時間が短すぎる。
- ・カードゲーム用カードが欲しい
- ・たかまつななさんの話及びカードゲームは楽しかったです。たかまつななさんの活動を応援致します。
- ・笑って学んで スゴイ。もっともっと日本では相模原市にSDGsの目標を行う事が必要
- ・知らない方とグループでお話(ゲーム)して楽しかったです。
- ・特別授業 SDGsについて楽しく学ぶことが出来た。周りの参加者さんと仲良くなれたゲームをして楽しかった。こういった学びの場が増えると嬉しい。より沢山の人に参加して欲しい。
- ・SDGsカードゲーム面白く学ぶことが出来て楽しかったです。
- ・特別授業はカードゲームを使う事で非常に分かりやすかった。
- ・ババ抜きゲームでSDGsが楽しく学べた

- ・たかまつななさんお若いのにSDGsを真剣に取り組まれていることに感動しました。相模原市民としてもまずSDGsの言葉から広めていきたいと思えます。ハマカーンさんの御二人のにあえて嬉しかったです。また来てほしいです。
- ・売れない芸人は売れる努力をしてください。
- ・アンケート・ゲーム等参加型は初めての体験。とても良かったです。SDGsよ〜く分かりました。男女問わず年齢問わず笑って学べる。加えて楽しく学べるとても大事ですね。ありがとうございました。
- ・テンポよく分かりやすい授業でした。SDGsを多くの人知って良き国会議員が増えればよいと思えました。とても良き機会を頂きありがとうございました。
- ・SDGsの取組は重要。個人、企業、自治体、国政 レベルにあった取り組みの可能性を数値化することは大事。
- ・ババ抜きは良かったです。長すぎたかな。周りの人たちとお話してできたので良かったです。SDGs日本の状態がゲームにうまく飲み込まれていると思えました。
- ・周りの人との交流も楽しむことが出来、楽しく学べる良い機会になりました。
- ・ババ抜きは楽しく学べてよい。アイデアだと思えました。ありがとうございました。パネルディスカッションは会場の意見が投影され、聞くだけではなく参加型としてよかったです。
- ・笑下村塾のSDGsのカードゲームは面白かった。笑いながら皆ワキアイアイそれでいて為にちゃんとなっている。吉本もこれくらいやらずに。ジャニーズの二の舞になるなよな。「俺が俺が」「自分が自分が」言いまくっているようではまだだね。(周りも自分も反省反省)。面白味を強調するより、適格な視点をもって語る方が特別授業の対比があって印章づけられるのではないか
- ・SDGsカードとも面白かったです。一緒にゲームをした市民の方とも仲良くなれてよかったです。
- ・ババ抜き嫌だ と思いましたが意外と面白かったですね。ハマカーンである必要がありましたかね。
- ・図書室でSDGsの本が入ってきました。調べるとSDガンダムが出てきますから認知度低いですね。知りたくてきました。お笑いが見たいと子供もきました。お笑いネタが5分でもあればよかったです。カードが分かりやすくSDGsがとることが出来た。
- ・ゲームは楽しくできるが、初めの説明が事例が身近にならず、日々の生活より理解した。

- ・特別授業は普段感じる事の少ない海外の事情についてスライドを説明されていて分かりやすかったです。
- ・特別授業も良かったです、芸人さんの活躍がもっとあると楽しめたと思います。
- ・特別授業は大人よりも子ども達(特に小学生・中学生)知ってもらうために大変良いのではと感じた。
- ・芸人さんをお呼んだので来ました。
- ・ハマカーンさんがかなり会場を動き回っていたので、運営スタッフを充実させてほしかった
- ・カードゲーム化が楽しかった。子ども二人連れてきましたが、子供も分かりやすい話し方だったので良かった
- ・ババ抜きもっとやりたいです
- ・SDGsについて初めて知りました。皆でカードゲームが出来て楽しかったです。

#### ○シンポジウム全体について

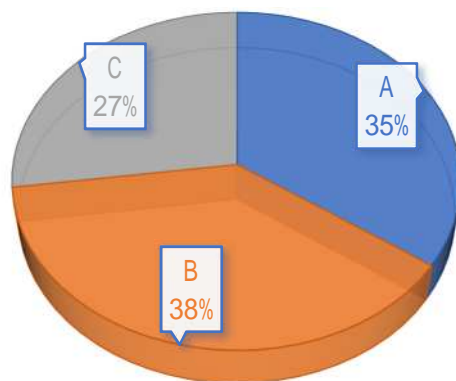
- ・勉強になりました。
- ・時間が足りなかった
- ・このような考え方を国に申し入れる事が必要
- ・これからの私達の活動に役に立てたいとおもいます。
- ・分かりやすく楽しく学べました。
- ・アンケート集計の結果がわかりにくい。ゲームの時間が長い。
- ・ありがとうございました。楽しく分かりやすかったです。
- ・これを機にさらに理解が深まっていけて幸い
- ・会場みんなで参加できるイベントはとっても良いと思います。
- ・非常に勉強になりました。楽しく学べ、今後出来る事を始めようと思いました。
- ・パネルディスカッション、特別授業も参加型で楽しく学ぶことが出来ました。
- ・市も大事ですけど、国としての考え迄話してくれるととっても良かった
- ・分かって学んで考える
- ・相模原に生まれ、仕事にもついているが、本市の特徴・特産物を言われるとすぐに思いつかない。本市の特徴を前面に活かしてまちづくりをして行かなければと思う
- ・今までテレビ等で話題になっていますが、あまり関心を持っていないが勝手ですがこのシンポジウムで関心を持つきっかけとなり有意義でありました。
- ・こうした市民参加型の啓蒙活動は大変良い。今後開発にあたる時に一般市民の声は大きい

- ・市長の口から話を聞く機会がほとんどないので、こういったシンポジウム等の行事があるときはニコニコ動画やY o u t u b eなどでアップロードしてくれたらよいと思う。次に話を聞くのが市長選の時は寂しいので。
- ・長さが丁度良かった
- ・お笑い学会の先生に来てほしかったです。クリッカーのアンケートで質問票が手元にないとスクリーンに結果が出てもa b c d eは何だっけ・・・でした。プリントが欲しかったです。(再生紙可)私は国内の遠方に行ったときは神奈川県だと言います。もちろん関東エリアではサガミハラからですと言いますよ。
- ・参加型で面白かったです。色んな人から話が聞けて興味深かった。
- ・参加型で楽しかったです。
- ・とっても良かったです。また参加したいです。
- ・勉強になりました。
- ・とても参考になりました。
- ・大変参考になりました。市長さん初めてこれから相模原の発展を期待しています。
- ・今回のテーマは現代日本の問題点ともいえるものであり、大変参考になりました。後半のS D G sのシンポジウムは大変勉強になりました。
- ・取り上げた課題はどこの自治体でもある課題であり、一般的な対応となっている。もっと相模原市独自の課題を取り上げて検討して頂きたい。
- ・パネルディスカッションは直ぐに反映されるのでとても良い。ただA B C・・・と答えの内容が何なのかわからない方が多かったです。質問の画面も横に映し出されるといいと思いました。相模原市は平均を狙っているのかと昔から感じているまちづくりもそうだし女性の社会進出が目覚ましく、親が子を育てないのをよいとしている傾向がある。核家族・父子・母子家庭増加、支援する子ども増加中。30年前と保育が変わっているのは明らか。なのになぜ先生たちは増えず必死なのか子供を預けていたころの方がよっぽど保育が豊かで先生たちとの距離も近かった。孫を預けている今、先生たちの責任の重さがかわいそうでならないし、孫の命をちゃんと守れるのかも心配。たぶん障がいを持っているのか、孫のクラスには先生がそばについてられない子が5人6人では聞かない位多くいる。うちの孫は其中で先生と親しく設置しているのか。本当にこれでいいのか。市長これでいいのか。相模原の幼稚園・保育園はすごいぞと他市かがびっくりするくらい改革できないものか。やはり平均を狙うのか。だから相模原は只のさがみはらで終わるのだ。我が孫の孫の保育を見てほしい。先生は必至だ豊かな保育はしていないと思うから見てほしい。

- ・残念ながらパネルディスカッションには間に合わなかった。有意義なイベントかと思います。
- ・弱者が住みやすい街づくりにしてほしい。強者になるものの気持ちがわからない。弱者の妻を介護して初めて強者の為にできていると感じた。音楽や笑いをもっと盛んにしてほしい。人が外に出るようにしてほしい。
- ・楽しかったです
- ・ぼたんを押してみんなの意見が聞くというのはとても面白く“生”の声って感じました。SDGsはみんなが少しずつ意識してよりよい未来があるとよいと思います。このコーナーは分かりやすく楽しかったです。
- ・パネルディスカッションは参考になり、期待できるような内容でした。お笑い芸人は1対2の息が合わず、内容も感心できませんでした。
- ・色々勉強になりました。楽しかったです。
- ・初めての経験。とても良かった。

### 3 SDGsについてシンポジウムの前から知っていましたか？

A：内容まで知っていた	69	35%
B：名前だけ聞いたことがあった	76	38%
C：全く知らなかった	54	27%



#### 4 参加されて感じたこと、今後のまちづくりへのご意見

##### ○まちづくりについて

- ・ごみを減らす
- ・まちづくりの見える化
- ・相模原に目玉になるような観光スポットを作してほしい
- ・まちづくりは自ら参加していくものだと感じました
- ・誰もが住みよい街に
- ・相模原市民の意識が高くなることが重要
- ・色々参加できる機会を増やして欲しい
- ・郷土愛を育む。(そのように感じられるように自然体で取り組む)
- ・相模原市民としてもっと考え行動しなければならないと思いました
- ・自然や文化をこれからも大切に頂きければと思います
- ・シネコンを相模大野地区へ海老名には2館ある
- ・もっと興味を持ち、自分で出来る事をして行きたいと思いました
- ・多くの市民が想いを伝える機会を作してほしい。
- ・まちづくり「総合計画」への市長あるいは市長の考え及び市行政として“友との協業、協働や計画施行への参画をもっと進めるよう直ちに組み入れて下さい。”
- ・まだまだお題目、きれいごとが多いのが事実だと思います。実現させる具体案の創出と実行を押し進めることが必要に感じます
- ・相模原市をいかにして愛着を持てる市にするか考えたいと思います。
- ・相模原市は「都合のよい回答」に感じる。特に緑区1時間あれば新宿横浜に行ける。地方では隣町まで30キロが当たり前。中央・南区 都会、緑区 自然バランスを売りにする。自然が豊かで住みやすく、尚且つ便利がいい。緑区は歴史ある酒蔵もあり、水がきれいで抱負。『平日も休日も積みやすい街』
- ・このような機会をもっと広げ参加者が増える事望みます。本村市長さんに代わり前向きな相模原市を作りたいです。神奈川相模原市大好きです
- ・私は相模原市民ではありませんが、相模原市を第一希望出職現在職員採用試験を受けさせて頂いております。最終面接の結果待ち状態ですが、若し相模原市とご縁がありましたら、私も持続可能な相模原市の街づくりに尽力したいと改めて感じました。とても勉強になりました。本日はありがとうございました
- ・政令指定都市なのに市民病院がないので作ってほしい。協同病院をそれに代わるとしているようだが総合病院として沢山の科が多くなったが、実際に内容は全くついていない。特に脳外科一般外来の受信日がほとんどない。考えてほしい。



- ・まちづくりと言うと何か作り上げてるものと言うイメージがありますが自然や環境、市民の意見を無視してまで計画するものではないと思います。
- ・市内の官庁を回るバス(コミュニティバス)がある。便利。市役所警察署、郵便局(本庁)市民会館等・自分の出来る事を進んでやっていく
- ・もっと若い人たちが自分の住む場所をどのようにしたら住みよい街に出来るか考えてもらえるといいなと思います。
- ・小田急多摩線の延伸計画に関して、他に金を回すべきではないでしょうか。やっている場合ですか。
- ・相模原市は空き家が多いと思います。何か対策はされているのか。
- ・友人たちの中には相模原で生まれ、学び、働き、子育てしている人が沢山います。それだけでも住みやすい街なんだろうと思う。一方通行の施策ではなく、もっと意見が反映される市になってほしい。機会があれば市長とも話したい(子育て広場の会長をしています。)
- ・相模原市に住み、近隣自治体で働いているので相模原市の良い面又は不十分な所も見える。子供が増える子供が住みやすい、住みたい、住み続けたい街づくりが進んで行けばと思います。
- ・市長の考え方がハードとソフトのバランスある総合計画を目的をもっていることが理解できた。緑区での開催されたシンポジウムなら緑区の課題を取り上げて欲しかった
- ・まちづくりは大変な時間を要す。しかしあきらめずに声を上げて訴えていきたい。もっともっと住みやすい街に。
- ・教育を市の施策としてメインにしてほしい。
- ・子どもに関わる仕事をしてきました。未来に向けた街づくりに向かって何かしたいと感じます。
- ・ディスカッションで「労働」「教育」の面についても触れられたら良かったと思いました。
- ・子どもが育ちやすいまちづくりを希望します
- ・2021年5月に政令指定都市学校保健協議会が開催されます。他の政令都市の方々に相模原市の事をPRする絶好の機会かと考えています。しかし、他市に負けない“相模原市”ってコレ！というものがまだありません。私は宇宙開発事業に関係する事を挙げてもっと取り入れ入れくれたらどうかと思います。
- ・保育スタッフ、介護スタッフのなり手がいないと現場は強く感じている。なぜ。賃金が安い。無認可だから。もっと増える方法を作してほしい。
- ・市民が社協でやっている事柄(介護支援や子育て支援事業)が広報などを通じて常に情報がキャッチできると素晴らしいと思います。

- ・車いすで外出していますが車いすマークの所に健常者が平気で止めています  
が、残念です。アメリカの様にライセンス制度にしてもらいたい。住みやすい  
街にしてもらいたい。
- ・橋本駅北口車いす用下車の件です。屋根がない(エレベーターはあるが)狭い所  
なので広く安全な場所で下車できるようにしてほしい。車いす専用Pに健常  
者が平気で止めている。(マナーの問題だが)アメリカではライセンス(マーク  
を提示)ない人は止めているとペナルティ(罰金)相模原も他のお手本になる  
よう住みやすい街になることを希望します。
- ・笑って学ぶと書いてありましたので、小学6年、4年子を連れてきましたが、  
子供向けではなく(時間的に遅いと思ったのですが)大人向けとしてよい内容  
とは思いますがポスターからではわかりにくかった。特別授業を先にやって  
頂けたら子どもと参加した方々は良かったのではと思います。
- ・介助員をやっています。学童の補助員を夏休み期間やっていますが、両方人員  
不足(かなり深刻です。)にも関わらず市の仕事を分散させたいのか両方の仕  
事を同時に引き受けられない状況です。(どちらも土日盆休みでも時給があが  
りません)長時間がかばっている方も介助員は時給があがりません。出張(遠  
足 わかあゆ場合によっては修学旅行)もありますが学ぶ機会もなく働き方  
も選べません。(フルで働けないという意味)せめて、時給があがる。専門知識  
を得る機会がある。専門員としての働き方(時給ではなく、週3以下15とい  
う働き方だけではなく、フルで働ける道もある。等)あるとよいです。専門的  
な知識があり、長期働いていても月に6万円前後で働いて夏休みなど長期休  
みが入ると収入は減り、先生と同様移動もあり、地位は低いです。他の仕事も  
入れている人も多いです。私もファミサポの援助会員でもあります。働く保護  
者の方々のサポートも必要です。ファミサポでは21時までの預りですが、保  
育所でその時間まで預かれるところが少ない。です。ファミサポでは奨学生で  
すが、中学生以降のサポートはほぼない。(障害者のみ18歳条件有なので現  
場サポート不足です。)子育てしやすい環境は人材育成が先です。相模原市は  
安くて八王子に人材が流出中です。
- ・橋本駅北口に車いす専用の駐車スペースをお願い致します。大変不便です。具  
体的にお話を市に行きたいのですが、どこへ行ったらいいのでしょうか。尚、  
車いす専用駐車場にマークだけではなく、米国のようなライセンスを付ける  
ようにしたらどうか。例「駐車許可証」札を車に付ける。
- ・市長さんをお願いします。巡回バスを早く。又高齢化が進み道路で休憩できるイ  
スなど設置してほしい。
- ・エスカレーターが一つしかない時、上りエスカレーターだけで、弱者は下り階  
段が怖いので下りエスカレーターだけにしてほしい。

- ・市長に疑問があります。大学1年です。(麻布大学に通っています。)磁石の部分にレアアースを使用している為、莫大なコストを要しますリニアについてなのですが、地下に通す計画に関して、町田市や近辺の市町村と協定していると思うのですが主な開発資金源は我々の税金から徴収されているのですか。(学校出以前調べました。)
- ・シティプライドを持つため、個人的な宇宙産業を誘致し、雇用を増やし、財政の健全化を図る必要があります。ロボット産業特区を拡張して宇宙産業特区を推薦してください。

### ○SDGsについて

- ・SDGs 身近にかんじました
- ・ニュースなどで相模原のイメージが悪くなっている。相模原で良いところを news でできる活動をしてほしい。SDGs で社会を変える為に生活の中に取り込んでいきたい。
- ・取り敢えず同級生たちに伝えて地域へとつなげていく。
- ・熱心な方たちに刺激され、影響受けました。
- ・SDGs ウォッシュにならないような総合計画相模原市にしてほしいです。
- ・SDGs の大切さを理解できたのでリニアの負の面(大量エネルギーの消費・環境問題)とどう調和させていくか大きな課題だと改めて感じた
- ・SDGs 自体知っていましたが目標が大きく行動できなかったが、自治体でもできないことを意識していく事が可能だなと感じられた。
- ・SDGs について自分から動くことは動くことが難しいがやれることはやっていきたい。エコバックを使うとか、ペットボトルを買わないとか。小さいことから意識していこうと思う
- ・SDGs については知らない関心が少ない人にも取り組みを知ってもらえるような情報発信がこれからさらに重要になると思います。(参加者はある程度関心の高い人が多いと思うので)
- ・私は学生団体に所属しており、SDGs にとっても関心があります。それについて何回かディベートもしましたがわかりにくいことが多くなり、今日の話は参考になりました。ありがとうございました。
- ・この会場でトランプ(ババ抜き)は大変でした。日本では男女の格差が大きいですね。女性の地位は低い。食べるものだって、半分は捨てている。我が家では作った食事はほとんど完食しています。コンビニの制度を変えたらどうですか。賞味期限が過ぎた安く売ったらよいと思います。
- ・まだまだ課題があると思われる事があったので、一市民として出来る事をやっていきたいと思いました。

- ・ババ抜きなど、小学生等楽しく過ごせたのはとても良かった。幅広い世代が意見を返していく事はとても良いと思います。同じ市民が異なる意見を述べる環境があるのは良い。
- ・思った時は行動をとる。考えさせられたこと。一人一人の力を行動に
- ・一つ一つ出来る事からやりたいです。
- ・ともだちにも広め年代の人でも快適に暮らせるように教えられれば良いなと思います。
- ・相模原市ではSDGsについては全ては対応目指すのは難しいと思うが何に力を入れてやっていけばよいのだろうと思いました。

### ○その他

- ・多くの方が参加されて、相模原市愛を感じた。
- ・他県出身の相模大野在住の者です。まちづくりとその手段に長く関心を持っており、たまたまコンビニで見たポスターをみてのシンポジウムに参加致しました。芸人がニュースのコメンテーターをやる時代なのでこういった形も興味を引くきっかけとなって宜しいのではないのでしょうか。
- ・周りを見回し、問題点があれば意見を聞き、そしたら行動に移すようにしようと思う。
- ・相模原に済んでいても知らないことが沢山あって、もっと地元の事を素人思いました。
- ・もっと市の事を知ろうと思いました。よりよくするために自分に何が出来るのかも考えていきたいと思います。
- ・市民一人ひとりが相模原市に誇りを持っていけたら、本当に素敵だと思います。
- ・先ず、自分でできる事から少しずつやっていきたいです。楽しい企画をありがとうございました。
- ・若手市長の本村さんの主張方針を初めて聞いた。今のところは前市長とは違って外へ露出する姿はあまりお見かけしないようだが、その分内政をきっちり差分して頂ければ無問題です。ですがちゃんと発信する場を作る事を心掛けてほしいものです。しゃべった言葉がすぐに文字変換されるのが実に小気味がいいな。これは色んな講演でも試す価値があると思います。それを「自動翻訳版」でもできるようにすればまさにサステナブル。
- ・ディスカッションであった市の情報がもっともっと届く仕組みになればと思いました。
- ・市長が就任され、初めて見聞くことが出来ました。それから相模原の状況を少し知ることが出来た。

- ・市長は各地域を回ってほしい従来は年1回の街づくり会議でも副市長が冒頭で5分だけ来て「予算がありません」と言って帰るだけどうしようもない仕組みだったので改善して欲しい。
- ・先月相模原市に引っ越ししてきて、シンポジウムに参加致しました。意外と年齢の若い方がいらっやってとても良いことだと思いました。相模原市はこれから楽しみな街だと感じました。市長頑張ってください。
- ・新しい市長に期待しています。反発する勢力も沢山あろうと予想しますが、それに屈せず暮らしやすい街づくりをお願い致します。私も子育て支援やスポーツ啓発の分野でお手伝いしたいと思います。(銀河アリーナでスケート普及活動をしています。)
- ・本賢(モトケン)が良かった。モトケン、これからも頑張ってください。
- ・市長が「障害を持つ方」と発言していたが「障がいのある方」と言うべきではなかった
- ・しっかりとした紙のチラシ1セット、重いし、家で捨てるだけ。どこからお金が出ているのでしょうか。役所の無駄遣いを感じる。
- ・厚木市で「かがやき塾」のような活動が活発になるといいなと思います。市民が得意な物を教える。
- ・本日は大変お疲れ様でした。昔から私はゲームとお笑いが苦手ででした。ごめんなさいね。本日の職員さんご苦労様でした。エコ検定ライセンス取得していますよね。まだでしたら是非検定受けて下さい。
- ・相模原市がとても広く、地域格差が大きいと感じます。又SDGsと現在相模原、問題点がかぶる所は沢山あるのに、実際に行動に移すのが難しそうな現状。なぜできないのか。どうすればいいのか。生活に密着させる事が出来ていない。ちなみに今回は資料が多すぎてクリアファイル、ボールペン、バッジも不要。
- ・今後も市主催のシンポジウムが多く聞かれる事を希望致します。(市民参加型)
- ・これからもこういう企画お願い致します。シンポジウムとは関係ないですが市の催し物でるうさんの司会では会う事がありますが、るうさんの歌を1回も聞いてないです。本題ではないですが1回聞きたい。

# 資料編

(パンフレット表紙)

総合計画 × ESGs シンポジウム

## 笑って学んで考える これからのさがみはら

「相模原市の未来の設計図」である総合計画と、「国連が定めた世界共通の目標」SDGsについて、笑いながら学び、これからのさがみはらを一緒に考えましょう！

笑って  
Smile

学んで  
Learning

考える  
Think

日時 令和元年 8月9日金  
[午後6時30分～8時45分 (午後6時開場)]

会場 社のホールはしもと  
【ホール】  
(相模原市緑区橋本3-29-1 ミウラ橋本7F)  
[JR 横須線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口徒歩ですぐ]

主催 相模原市

(パンフレット中面 )

**プログラム**

**18:30** 開会あいさつ

相模原市長 本村 賢太郎

**18:35** パネルディスカッション

**「みんなで考えるこれからのさがみはら」**  
テーマ：基本構想を実現するために

金森 剛さん (国政女子大学副学長・社会マネジメント学科教授)  
中澤 吉裕さん (日本笑いサテニス協会アシスタントチーム監督)  
遠田 文江さん (株式会社ぴあや「女性活躍推進企業」代表取締役)  
佐野 和子さん (相模原子ども・子育て会議委員)  
本村 賢太郎 (相模原市長)

**19:35** 休 憩

**19:45** 特別授業

「笑って学ぶSDGs」  
エスディーエスジーズ  
たかまつななさん (お笑いジャーナリスト)  
[ゲスト]  
ハマカーン (浜谷 健司さん、神田 伸一郎さん)

**20:45** 閉 会



考  
笑  
学

(パンフレット中面 )

**パネルディスカッション**

**「みんなで考えるこれからのさがみはら」**

テーマ：基本構想を実現するために  
これからの相模原について、様々な分野のゲストと市長が討論し、  
会場の皆様全員と考えていきます！

**パネラー紹介**

**金森 剛さん**  
(相模女子大学副学長・社会マネジメント学科教授)

(前) 野村総合研究所に長年勤務した経験を生かし、マーケティング・経営戦略などについて、実際に訪れた現場を行っている。また、相模原市議会非営利委員会の副会長を務めている。



**通田 文江さん**  
(有限会社たけみや「女性活躍推進企業」代表取締役)

「相模原中の女性をキレイに、元気に、幸せにしたい!」をコンセプトに、化粧品とエステの両方「たけみや」を提供している。女性が働きやすく、活躍できる職場を提供している。



**本村 賢太郎** (相模原市長)

相模原市で生まれ育ち、神奈川県議会議員や県議院議員などの活動後、今年度から相模原市長に就任。匠々の結晶「政は民にあり」。



**笹野 和子さん**  
(相模原市子ども・子育て会議委員)

幼児園勤務として勤務後、こどもセンター・子育て広場会長、親子サロンの子育てサポーターなどを務め、地域の子育て支援に専心している。



**中澤 吉裕さん**  
(日本卓いすテニス協会ナショナルチーム監督)

長年にわたり本市において卓いすテニスの普及に専心している。また、日本卓いすテニスナショナルチーム監督として、パラリンピックで選手を銅メダルへ導いた。



**パネルディスカッション進め方**

パネルディスカッションは、ご来場の皆様に質問を投げかけながら、進行します。スクリーンに映し出された質問に①～④のボタンでご回答ください！

**注意!**  
必ず押るときに通知して下さい!!

黄色のボタンは使いません





(パンフレット中面 ・ )

# 新しい総合計画の基本構想が完成！ 共に咲かせよう 未来の花

あおむね20年間のさがみはらを築き上げた未来の設計図となる「総合計画」の基本構想が完成し、市民と行政が一体となって「目指すまちの姿」を明確にするため、これからは市民と行政が一体となって歩みを進めます。  
【お問い合わせ】 042-769-8203

**さがみはら**  
清いと活気に満ち  
笑顔と希望があふれるまち  
さがみはら

**暮らし**  
多様な主体との連携・協働により  
持続的に発展するまち

個性豊かな地域コミュニティをつくるとともに、市民と行政が一体に課題解決や発想力を創出・実践し、目標に向けた改革を進め、発展し続けるまちをつくりたい。

**環境**  
人と自然が共生するまち

温暖化などを防ぐCO<sub>2</sub>削減や環境に優しいライフスタイルの推進、資源の効率的な利用に取り組むとともに、まちづくりの持続可能性を、教育でめぐる学びのある生活環境をつくる。

**安全・安心**  
安全で安心な  
暮らしやすいまち

自然災害や事故などから市民の生命と財産を守ることに、安心して暮らせる住環境と魅力あるまちをつくりたい。

**活力・交流**  
活力と交流が新たな価値や  
能力を創出するまち

観光の推進や自然・文化・スポーツなどの地域資源を活用して、国内外から多くの人や企業を呼び込むことで、人の交流を活性化し、まちを元気に育てたい。

**共生・健康**  
笑顔で健やかに  
暮らせるまち

高齢や若年、障害、健康の異なるなどにかかわらず、市民が共に支えあいが、平和な関係の中で人間関係を築き、健康で心豊かに暮らせるまちをつくりたい。

**子育て・教育**  
夢と希望を持って  
成長できるまち

子どもが健やかに育ち、未来を切り拓く新世代の成長を支援し、生涯を通じて学びが豊かになるまちをつくりたい。

**総合計画・基本構想って？**

総合計画とは、行政活動の方向性を定めるもので、3つの要素から成り立っています。その中でも基本構想は、まちが成長し続けるまちを築いていくのを示す、まちづくりの基本理念に当たるものです。  
今年度、市民の皆さんと一緒に考えていたことが、基本構想・実施計画の作成で進みます。

基本構想について詳しくは、ホームページをご覧ください。

**基本構想** と **実施計画** でできています

基本構想： どのまちを目指すべきかを示す  
実施計画： どのように実現していくかを示す

**今後のスケジュール**

令和元年 6月28日 議決  
基本構想の決定

いまここ！  
基本構想・実施計画の検討

令和元年 11月議  
基本構想・実施計画の決定

令和2年 4月  
新しい総合計画スタート

総合計画に関する意見や提案はホームページからお問い合わせください。

総合計画 次期総合計画

(パンフレット裏面)



**特別授業**

エスティージーズ  
『笑って学ぶSDGs』

SDGsについて、難しい言葉を使わずに、笑いながら学べる内容をお届け！授業の最後には、観客参加型の『SDGs パパ抜きゲーム』を実施します！

**たかまつななさん**  
(お笑いジャーナリスト)

●プロフィール  
1993年神奈川県横浜市生まれ。東京大学大学院情報学環教育修了。フェリス学院出身のお笑い芸人として数々のテレビ番組に出演。『笑って学ぶSDGs』など、お笑いを通じて社会問題を学べるコンテンツを、全国の自治体、企業、学校などに届けている。



**ゲスト**

ハマカーン  
(お笑いコンビ)  
浜谷 健司さん  
神田 神一郎さん

●プロフィール  
東京農工大学の柔道部の先輩・後輩として出会い、2000年にお笑いコンビ結成。『THE MANZAI 2012』で優勝し、大ブレイク。2019年5月格闘家協会に入会。現在は、バラエティを中心に活躍中。ケイダッシュステージ所属。



**SDGs パパ抜きゲーム**

普通のパパ抜きゲームのルールに加え、さまざまな指令アクションを交えながら行う、楽しく学べるパパ抜きゲームです！

- ① 4人～7人のグループで行いますので、前後左右の席の方と、グループを作ってください
- ② グループに入れていない方などを、箱に入れるなど、ご協力をお願いします
- ③ 椅子をたおして机がわりにしたり、やりやすいように移動していただいで大丈夫です
- ④ 指令アクションは恥ずかしがらずに楽しくやりましょう！

最後にカードは回収します



